

平成30年度 第1回 宇都宮市冒険活動運営協議会次第

日 時 平成30年6月28日(木) 9:30～11:00
会 場 宇都宮市冒険活動センター 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 役員選出

5 議 題

(1) 報告事項

- ・平成29年度事業報告について

(2) 協議事項

- ・平成30年度事業計画について
- ・「安全」についての協議・意見交換

(3) そ の 他

6 閉 会

平成30年度 宇都宮市冒険活動運営協議会委員名簿

| NO | 区 分 | 委員名 | 団体名等 | 備 考 |
|----|--------|--------|--------------------------|-----|
| 1 | 学校教育関係 | 狐塚 章一 | 宇都宮市小学校長会 | 新任 |
| 2 | | 小堀 茂雄 | 宇都宮市中学校長会 | 新任 |
| 3 | 社会教育関係 | 池田 誠 | 宇都宮市PTA連合会 | 新任 |
| 4 | | 五十嵐 市郎 | 宇都宮市子ども会連合会 | 5年目 |
| 5 | | 櫻井 政義 | 宇都宮市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 | 3年目 |
| 6 | | 北條 成男 | 宇都宮市レクリエーション協会 | 3年目 |
| 7 | | 月橋 春美 | 栃木県キャンプ協会 | 新任 |
| 8 | 学識経験者 | 黒後 洋 | 宇都宮大学 | 3年目 |
| 9 | | 平野 勝 | 篠井地区ゆたかなまちづくり協議会 | 2年目 |
| 10 | | 伊澤 文彦 | 栃木県林業センター | 新任 |
| 11 | | 坂内 剛至 | 有限会社ネイチャープラネット | 9年目 |
| 12 | 公募 | 佐藤 奈美子 | 子どもの家指導員 | 新任 |
| 13 | | 宇賀神 光夫 | 無職 | 新任 |

(1) 平成 29 年度事業報告

冒険活動事業の考え方

里山の豊かな自然のなかでの冒険活動・自然体験活動を通して、

- ・子どもたちが主体的に取り組み、それぞれにともなう様々な困難や課題を克服し、感動や達成感を味わい、自ら問題を解決する能力を養うとともに、人間力や豊かな心をはぐくむ。
- ・自然に親しみ、理解を深めるとともに、人と人とのふれあいにより社会性や人間性の向上を図る。

ア 学校受入事業

① ねらいに迫る冒険活動教室の実施 【別紙1】『平成 29 年度学校利用計画』参照

- ・小学校 全 68 校実施。(参加者数 5,345 人)

※ 緑ヶ丘小と陽光小は、食中毒発生により、1泊2日で帰校。

残りの1日を陽光小は7月に実施、緑が丘小は12月に実施。

- ・中学校 全 25 校実施。(参加者数 4,690 人)

※ 陽南中・陽西中は、食中毒発生により、5月から11月に延期して実施。

- ・活動内容 【別紙2】『平成 29 年度小・中学校の冒険活動教室アクティビティ実施一覧』参照

- ・アドベンチャー、食体験、自然観察など全 45 種類

- ・事前打ち合わせの際に、事前調査用紙の「ねらい」に応じたプログラムの相談

- ・実施割合が高い活動

小学校：イニシアティブゲーム・杉板焼き・園内写真OLなど

中学校：野外炊飯、アドベンチャーゲーム、登山、マウンテンバイクなど

【過去3年間の学校利用状況】(延べ人数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--------|
| H27 | 981 | 3,117 | 2,994 | 3,450 | 687 | 3,909 | 2,571 | 4,911 | 1,701 | 2,303 | 2,694 | 717 | 30,035 |
| H28 | 846 | 2,520 | 4,398 | 3,525 | 197 | 3,186 | 2,751 | 4,142 | 1,773 | 1,881 | 2,439 | 654 | 28,312 |
| H29 | 1332 | 2,107 | 4,730 | 2,500 | 337 | 4,548 | 2,990 | 6,063 | 1,317 | 1,992 | 2,658 | 651 | 29,690 |

受入状況

- ・毎年、延べ3万人近くの児童生徒が冒険活動教室で来所している。
- ・冒険活動教室は、4月中旬～3月初旬まで実施しているが、6月、9月、11月は地域学校園の実施校と中学校の実施数が多いため、延べ人数が多い。

② 指導者研修会の実施

- ・小学校冒険活動指導者研修会の実施 6回(2/7, 4/14, 6/13, 8/24, 9/19, 11/30)

内容＝各学校のねらいを実現するために、より効果的な冒険活動プログラムを作成する。

対象＝実施時期に合わせた各学校の引率者

参加者＝74人(前年度67人)

- ・中学校への訪問(各学校2回)

学年会等でねらいに迫るプログラム作成及び活動周知のため担当指導主事が学校を訪問

- ・中学校冒険活動実技研修会の実施（4/25）

内容＝様々なアクティビティの詳細な指導方法や実技研修を行う。

対象＝冒険活動教室実施全中学校の教職員

参加者＝24人（前年度16人）

- ・冒険活動アクティビティ研修会の実施（8/22）

内容＝様々なアクティビティのねらいや指導方法及び自然体験活動の意義や効果について理解を深める。

対象＝宇都宮市立小・中学校の教員

参加者＝11人（前年度15人）

- ・自然活動指導者研修会の実施（8/7～10）

内容＝自然体験活動の資質や能力を高め、NEAL（全国体験活動指導者認定委員会）のリーダー資格の取得を目指す。

対象＝宇都宮大学学生

参加者＝30人（前年度30人）

【過去3年間の研修会参加状況】

| 研修会名 | H 2 7 | H 2 8 | H 2 9 |
|----------------|-------|-------|-------|
| 小学校指導者研修会 | 70 | 67 | 74 |
| 中学校冒険活動実技研修会 | 21 | 16 | 24 |
| 冒険活動アクティビティ研修会 | 20 | 15 | 11 |

③ 調査研究の実施及び成果の提供（重点課題） 別紙参照

内容＝道徳の4つの視点の変容を、冒険活動教室の事前、事後、1か月後のアンケートにより、「体験活動が児童生徒の道徳性に与える影響」について調査研究を行う。

④ 職場体験学習の受入

- ・市内中学生の宮っ子チャレンジ：市内中学校2年生87名が職場体験（19校）
- ・高校生インターンシップ：宇都宮商業高等学校2年生3名受入（9/12～9/15）

成果（◎）と課題（△）

◎学校の協力を得ながら、ほぼ計画通りに、ねらいに迫る冒険活動教室を展開できた。

◎地域学校園内の複数校での実施の際には、小小交流や小中交流の活動をプログラムに入れて実施することができた。

△冒険活動教室の計画で、学校受け入れ日の確保が難しくなっている。

→今年度から、学校の理解をいただき、日曜日を使っての実施を計画した。（陽南中と戸祭小）

△冒険活動アクティビティ研修会の参加人数が減少している。

→教育情報システムによる研修のPR・周知を実施していく。（特に初任者の先生、来所したことがない先生へのPR）

イ 主催事業

① 一般公募事業の企画立案の工夫（重点事項）【別紙3】『平成29年度主催事業一覧』参照

| 事業名 | 実施日 | 内 容 | 対 象 者 | 参加者数 |
|------------|------------------|-----------------------|-------------------|----------------------------|
| 家族ふれあいキャンプ | 5/20, 21 | 野外活動を通して家族のふれあいを深める | 市内在住、在勤の小学生を含む家族 | 食中毒発生のため中止 (前年度16家族55人) |
| 冒険キャンプ | 8/9, 10 | 自然体験を通じた新たな仲間づくり | 市内在住の小学5年生～中学生 | 67人(前年度52人) |
| ちびっこキャンプ | 8/26 9/23, 24 | 野外活動を通して人との関わりや自立心を養う | 市内在住の小学1, 2年生 | 24人(前年度24人) |
| もりであそぼう | 12/3 | 自然の中での遊びを通じた新たな仲間づくり | 市内在住の小学3, 4年生 | 24人(前年度23人) |
| 森のレストラン | 1/14 | 野外活動の普及と篠井地区の活性化を図る | 市内在住、在勤の家族またはグループ | 11組43人 (前年度13組59人) |

【過去3年間の主催事業参加状況】

| | 家族ふれあいキャンプ | 冒険キャンプ | ちびっこキャンプ | もりであそぼう | 森のレストラン |
|-----|------------|--------|----------|---------|---------|
| H27 | 11家族40人 | 33 | 24 | | |
| H28 | 16家族55人 | 52 | 23 | 23 | 13組59人 |
| H29 | 食中毒発生のため中止 | 67 | 24 | 25 | 11組43人 |

特徴

- ・家族キャンプは、食中毒の発生のため中止した。参加予定者には、手作りの写真立てを送付した。
- ・冒険キャンプは、台風の影響で、1日短縮して1泊2日で実施した。
- ・ちびっこキャンプには約4倍の応募があり、初めての参加者を優先して抽選した。
- ・森のレストランは、直前にキャンセルが数件あり、運営が厳しかった。

② 施設の周知及び利用促進

| 事業名 | 実施日 | 内 容 | 対 象 者 | 参加者数 |
|-----------------|---------|-----------------------------------|----------------------|---------------------|
| 利用者のための研修会 | 6/11 | 施設の有効活用の促進を図る。 | 利用を考慮する関係団体等の代表者、指導者 | 6団体23名(前年度10団体32名) |
| 子どものもりフェスティバル開催 | 10/15 | 様々な活動を準備し、施設の周知を図る。 | 全市民 | 約600名 (前年度1200名) |
| パネル展の開催 | 3/14～18 | 南図書館でパネル展、ネイチャークラフトを開催し、施設の周知を図る。 | 全市民 | 92名 (前年度48人) |

特徴

- ・メディアやホームページでの情報提供を積極的に行った。
- ・パネル展のネイチャークラフトでは、例年の輪切りクラフト以外に、鉛筆のキーホルダー作りを取り入れ、好評だった。
- ・子どものもりフェスティバルは、昨年は雨だったため、来園者が大きく減少した。

③ 地域との連携及び活用

《地域》

- ・大網用水組合・・・田川，逆川でのカヌーの実施（冒険キャンプ）
- ・篠井地区ゆたかなまちづくり協議会
 - ・・・うどん，特産物の販売（子どものもりフェスティバル）
- ・農産加工所（若妻会）・・・手ぶちうどん作りの指導（学校受入事業）
- ・松寿会・・・フェスティバルでの竹馬や篠竹鉄砲
- ・林業センター・・・クラフト用の輪切り製作協力等（主催・学校受入事業）
- ・篠井地区・・・活動での協力（篠井発見ラリー，マウンテンバイク，つりなど）
敬老会でのレストランの利用，もちつき研修の開催
篠井産農産物の活用（森のレストラン）

《宇都宮大学》

- ・「野外教育」の開講（受講枠 30 名）
- ・冒険キャンプでの指導の実践，センターへの人材提供の機会

特徴

- ・学校受入及び主催事業で，多くの地域の皆様や団体からご協力をいただいた。

成果（◎）と課題（△）

◎アンケートの結果から，ほとんどの事業で，参加者からの満足度は高かった。

◎平成 29 年度も，宇都宮大学の野外教育を受けた学生から数名が職員となり，人材不足を補えた。

◎森のレストランでは，篠井産のりんごを活用したおやつ作りを行い（28 年度はりんごパン，29 年度はリンゴジャム）を行ったが，違ったメニューで参加者から好評だった。

△利用者のための研修会の参加者数が，減少している。

→次年度の参加者数を見て，今後事業として継続していくか検討する。

△もりであそぼうと森のレストランは電話受付のため，数日で定員が一杯になってしまう。

→公平性の確保の観点から，本年度から，往復はがきでの応募に変更し，多数の場合は抽選する方式に改めた。

ウ 一般受入事業

【過去3年間の利用状況】（延べ人数：一般利用人数のみ） 【別紙4・5】『利用状況一覧』参照

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| H27 | 1,152 | 1,052 | 656 | 1,967 | 3,166 | 1,004 | 1,536 | 519 | 69 | 49 | 154 | 317 | 11,641 |
| H28 | 1,605 | 1,051 | 785 | 1,645 | 3,426 | 550 | 859 | 686 | 97 | 65 | 176 | 464 | 11,409 |
| H29 | 1,130 | 744 | 740 | 2,381 | 3,102 | 473 | 1,157 | 271 | 450 | 133 | 148 | 925 | 11,654 |

① 施設周知及び利用促進

| | |
|--|---|
| ○南函書館との連携事業 ・南函書館フェスティバル ・冒険活動センターパネル展 | ・南函書館フェスティバルでは、ネイチャークラフト体験コーナーの開設。指導者4名派遣。参加者108名 ・冒険活動センターパネル展では、センターの施設、事業の案内などを写真などで紹介。最終日はネイチャークラフトの体験を実施。 |
| ○広報うつのみや、市HPへの情報の提供 | ・休館日 ・センター施設案内、アクティビティの紹介、主催事業掲載 |
| ○メディアへの情報提供 | ・主催事業の開催情報、募集情報 ・新聞、テレビへの情報の提供 |

② 公園内の安全管理（重点事項）

【別紙6】『平成29年度保健室利用状況』参照

| | |
|-----------------|--|
| ○安全点検・放射線量測定の実施 | ・施設安全点検（月1回）、危険個所の修繕 ・放射線量の測定とHPでの公開 ・登山道の点検 ・活動前の各アクティビティの安全点検 ・スズメバチの巣の早期発見及び駆除 ・イノシシの目撃情報の共有、利用者への情報提供 |
| ○園内設備修繕・園内環境整備 | ・ロッジA棟南側天窗ガラス破損修繕（業者） ・浴室浴槽漏水修繕（業者） ・ロッジC棟デッキ・階段手すり、床板整備工事（業者） ・第2駐車場整備工事（業者） H30年5月に工事完了。 ・常設テント周辺危険樹木伐採（業者） ・センターハウス螺旋階段芯柱撤去工事（業者） ・工作室前水道石罅置き場設置 ・調整池木道整備 ・園内階段、砂利敷き等整備 ・登山道倒木処理、危険木伐採 ・登山道案内表示板修繕 ・本館、ロジドドア修繕 |
| ○国有林伐採による登山道の変更 | ・国有林伐採ため、園内周辺入山禁止（H30年夏～H32年11月まで） ・登山道進入禁止の表示、地図の配布 |

③ サービス（おもてなし）の充実

【別紙7】『平成29年度一般利用アンケート集計』参照

【別紙8】『平成29年度リーダーバンク実施状況』参照

| | |
|-------------------|--|
| ○事前打合せ、下見、活動紹介の充実 | ・利用者の意図に沿った各団体代表者への情報提供及び相談 ・下見の際の園内や施設の案内 |
| ○入所、炊飯場利用時の説明 | ・入所時のオリエンテーションの実施 ・炊飯時のかまどや薪の使い方の説明 |
| ○リーダーバンク事業の紹介 | ・イニシアティブゲームとネイチャーゲームでの指導員の派遣 団体との相談により、別活動でも実施。 32団体1,413人に対して、162名の指導員の紹介 |
| ○レストランとの連携 | ・アレルギー代替食希望への対応 |

成果（◎）と課題（△）

◎年間延べ人数で1万人の利用者があり、アンケートの結果から、おおむね好評を得ている。

◎昨年度からリーダーバンクの料金を5,000円に値上げしたが、利用人数は一昨年度より多かった。
（28年度1,353名→29年度1,413名）利用者から料金値上げに対する意見はなく、多くの利用者に活用され好評をいただいている。

◎新聞やテレビ、ホームページ等の媒体を使って、センター情報を発信することができた。

△国有林伐採開始が昨年度から今年度になった。

→入山の可否についての情報を、市民や学校へ周知していく。

(2) 平成30年度事業計画

◆事業の考え方

里山の豊かな自然のなかでの冒険活動・自然体験活動を通して

- ・子どもたちが主体的に取り組み、それぞれにともなう様々な困難や課題を克服し、感動や達成感を味わい、自ら問題を解決する能力を養うとともに、人間力や豊かな心をはぐくむ。
- ・自然に親しみ、理解を深めるとともに、人と人とのふれあいにより社会性や人間性の向上を図る。

◆平成30年度具体目標(◇)・具体策(○)・重点課題(◎)

【別紙9】『平成30年度学校利用計画』参照

ア 学校受入事業

| | |
|-------------------|---|
| ◇ねらいに迫る冒険活動教室の実施 | ○指導者研修会の充実(小学校・地域学校園) ○事前・最終打ち合わせの充実(中学校) ○ナイトプログラムの推進 ○市内教職員を対象としたアクティビティ研修の充実 |
| ◇小中一貫教育・地域学校園への対応 | ○地域学校園を基本に日程を組み、交流活動の推進を図る。 ○研修会での小中・小小交流活動の紹介 |
| ◇調査研究の実施及び成果の提供 | ◎「体験活動が児童生徒の道徳性に与える影響について」 道徳の4つの視点の変容を冒険活動教室の事前、事後、1か月後に測定する。併せて教員対象のアンケートを事後に行い集計する。 |
| ◇インターンシップ受け入れへの対応 | ○中学生の宮っ子チャレンジ ○高校生、大学生インターンシップや教職10年目研修など |

【別紙10】『平成30年度主催事業一覧』参照

イ 主催事業

| | |
|--------------|---|
| ◇魅力ある主催事業の展開 | ◎一般公募事業の実施 ・家族ふれあいキャンプ ・もりであそぼう！ ・冒険キャンプ ・森のレストラン ・ちびっこキャンプ |
| ◇施設の周知及び利用促進 | ○利用者のための研修会の実施 ○子どものもりフェスティバルの実施 ○冒険活動センターパネル展の開催 宇都宮南図書館でのパネル展示、ネイチャークラフト体験 |
| ◇地域連携 | ○篠井地域との連携(人材、食材、自然の活用) ○宇都宮大学との連携 インターンシップや野外教育など |
| ◇指導者養成事業の充実 | ○自然体験活動指導者養成研修会の開催 ○養成指導者の活用 主催事業への協力依頼 |

ウ 一般受入事業

| | |
|-----------------|---|
| ◇利用促進 | ○南図書館のパネル展での啓発 ○主催事業案内の配布、市ホームページでの情報発信 |
| ◇公園内の設備の充実・安全管理 | ◎安全マニュアルの見直し、安全点検の充実 ○園内設備更新 ロッジB棟のデッキ手すり工事 ○園内環境整備 第2駐車場の整備と活用 |
| ◇サービス(おもてなし)の充実 | ○利用の際の事前打合せ、下見、活動紹介の充実 ○入所、炊飯場利用時のオリエンテーションの対応 ○リーダーバンク事業の紹介 |